



Select Digital Director

Users Guide



[取扱説明書]

もくじ

はじめに/MSB Select Digital Director の概要.	3
梱包内容/諸注意(電源コード/使用/設置/接続の前に).	4
セットアップのしかた.	5
[Step 1] Select DAC のファームウェアをアップデートする	
[Step 2] モジュールをセットする	
接続のしかた.	6
電源オン/オフのしかた.	7
[トリガーの設定について]	
[LED 表示について]	
Select Digital Director 機能の ON/OFF.	8
Select DAC メニュー.	8
Select DAC メニュー項目一覧.	9
主な仕様.	10
保証.	11

はじめに

このたびは、MSB テクノロジー”Select Digital Director” <セレクト・デジタル・ディレクター>をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本取扱説明書には、本機の設置や操作についての重要な情報が含まれています。

本機の優れた機能・性能を存分に発揮させ末長くご愛用いただくため、本説明書を一通りお読みの上、設置や操作の詳細について十分にご理解いただき、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

[MSB Select Digital Director の概要]

<デジタル・ディレクター>は、MSB DAC との連携によって一体的に機能し、D/A 変換の品位を飛躍的に高めます。

デジタル入力モジュールを DAC 本体から<デジタル・ディレクター>に移設し、本機と DAC 間を Pro ISL ケーブルとコントロールリンクケーブルで接続することで、<デジタル・ディレクター>は、様々な形態のデジタルオーディオ信号に適応する専用のレシーバーとして入力処理を行ないます。

そしてさらに<デジタル・ディレクター>は高度なデジタルフィルタリング処理を行なった上で、Pro ISL 仕様のシングルモードレーザー光ファイバーケーブルによって DAC 本体にデジタル信号を送り出します。

これによって DAC は、様々な形態のデジタルオーディオ信号に対する煩雑な処理工程と、複雑な演算を求められるフィルタリング処理工程から解放され、電氣的ノイズも完全にシャットアウト。飛躍的なパフォーマンスの向上と完璧なノイズアイソレーションを実現します。

※ご使用にあたっては MSB DAC 本体への Pro ISL モジュール/コントロールリンクモジュールの装着とファームウェアのアップデートが必要です。

[梱包内容]

- Select Digital Director 本体
- 付属品:
 - Pro ISL モジュール (Select DAC 取り付け用)
 - Pro ISL ケーブル
 - コントロールリンクモジュール(Select DAC 取り付け用)
 - コントロールリンク TOSLINK ケーブル
 - 3.5mm ミニプラグ・トリガーケーブル
 - AC 電源コード

※Select DAC 取り付け用の Pro ISL モジュール、コントロールリンクモジュールは Select Digital Director 本体に仮り挿入されています。
セットアップの際には、外して Select DAC 側に取り付けます。

- 取説
- 保証登録カード(はがき)

付属電源コードの取扱いについて

本機(電源ユニット)に付属している AC 電源コードは、本機専用のものです。他の機器にはご使用になれません。

ご使用上の諸注意

本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- 火災や感電等の危険を避けるため、湿気の多い場所や水のかかる場所で本機を使用しないでください。
- 火災や感電等の危険を避けるため、本機のカバーを取り外さないでください。内部にはお客様に調整していただく箇所はありません。
- 本機を、水のかかりやすい場所、湿気の多い場所で使用しないでください。また水がかかった時は、すぐに電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機を、暖炉やストーブなど熱源の近く、あるいは熱を発生する機器の付近で使用しないでください。
- 本機を、直射日光の当たる場所、あるいは低温になる場所で使用しないでください。
- 本機は指定された電源以外では使用しないでください。
- 本機のお手入れには柔らかい布をご使用ください。水やダストスプレー、溶剤、研磨剤、クリーニング剤等を筐体に直接に付けることは避けてください。

[設置について]

- オーバーヒート防止のため、本機の周囲は通気を確保する空きを設けてください。
- フロントパネルにはリモコンの受光部がありますので、ラック内に設置するような場合、フロントパネルが扉などで隠れてしまわないようご注意ください。リモコンは、赤外線ですから、ガラスなどは問題なく透過します。

[接続の前に]

- 接続は、本機および接続する機器の電源コードをすべて抜いてから始めてください。
- 接続の前に、組み合わせる Select DAC のファームウェアアップデートが必要です。以下、順にご案内します。

セットアップのしかた

[Step 1] Select DAC のファームウェアをアップデートする

Select DAC のファームウェア・バージョンを最新にアップデートします。(2023.04 現在: 3.1.2.1)

MSB のサポートページ

www.msbtechnology.com/Support

を開き、The Select DAC をクリック。

The Select DAC – Firmware Update の.WAV アイコンを右クリック→名前を付けてリンク先として

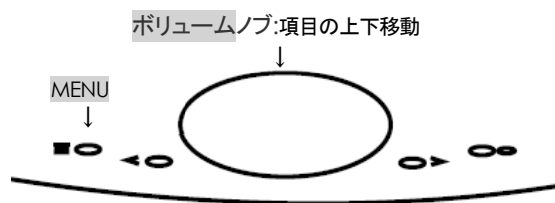
3.1.2.1 ファームウェア・ファイルを保存します。

通常の音楽を再生するように保存したファームウェア・ファイルを再生します。

最後まで再生(2分18秒ほど)するとアップデートが完了します。

Select DAC のファームウェアがアップデートされているかどうかの確認方法

- **MENU** ボタンを押し、**ボリュームノブ**を回して、**DAC Software** の項目をチェックします。
- 3.1.2.1 と表示されていれば正常にアップデートが完了しています。



[Step 2] モジュールをセットする

⚠ <重要>Select DAC の電源を切ってから始めてください

(1) Select DAC の入力モジュールを外し Select Digital Director に移設します

(2) Select Digital Director 同梱のコントロールリンクモジュールを Select DAC の スロット A に Pro ISL モジュールを Select DAC の スロット B に、セットします。
※次ページの図を参照)

モジュールの取り外し/取り付け方法について

モジュールの取り外しと取り付けは、特にツールを必要としません。モジュールユニットの背面で簡単に実行できます。

各モジュールの下側には、レバー アームがついています。これを、ユニットの背面と垂直になるまで、レバーを引き出します。

次に、レバーをもってゆっくりとモジュールが外れるまで引っ張りスライドさせて取り外します。

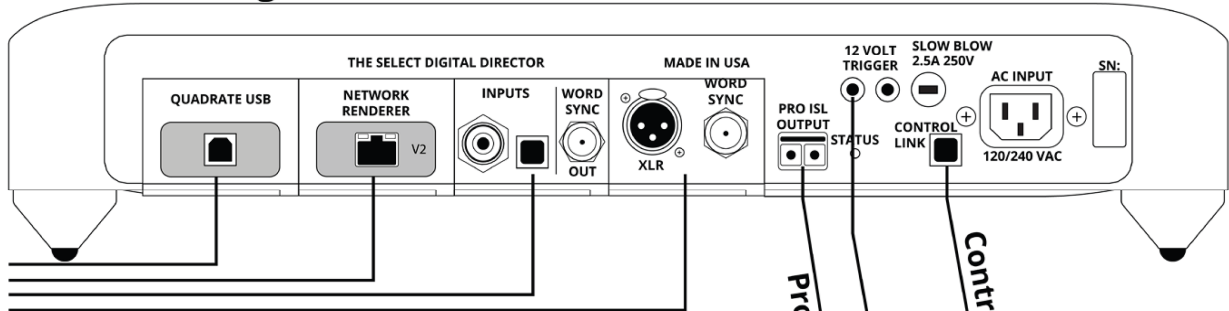
取り付けはその逆に行ないます。スロットに差し込み押し付けながらレバーを締めます。

⚠ <重要>モジュールの取り扱い注意

ユニットから入力を外したり付けたりするときは、入力モジュールの回路基板または背面コネクタに触れないようにすることが重要です。モジュールを取り扱うときは、モジュールの金属ケースまたはレバーアームだけに触れるようにしてください。

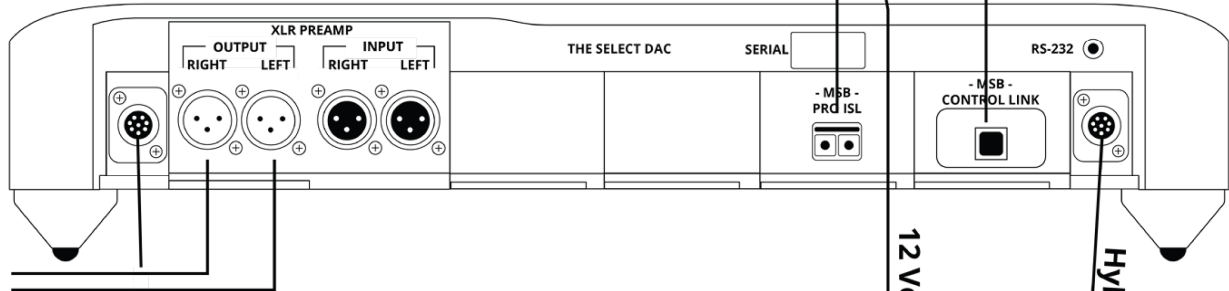
モジュールを不適切に取り扱くと、モジュールまたはユニットに静電気ショックや損傷が生じる恐れがあります。

The Select Digital Director



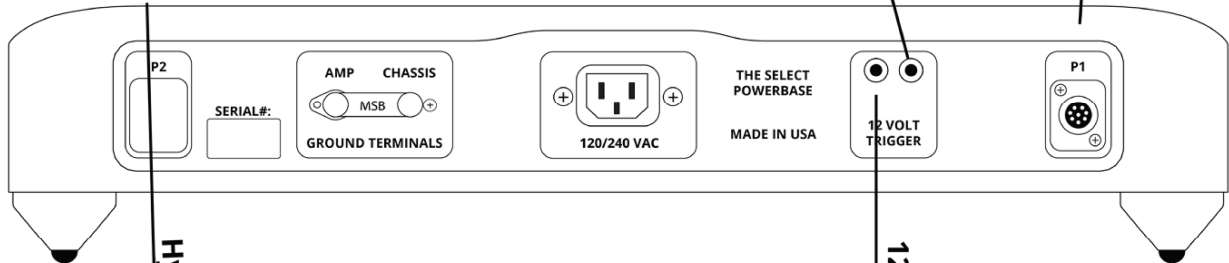
Digital inputs

The Select DAC

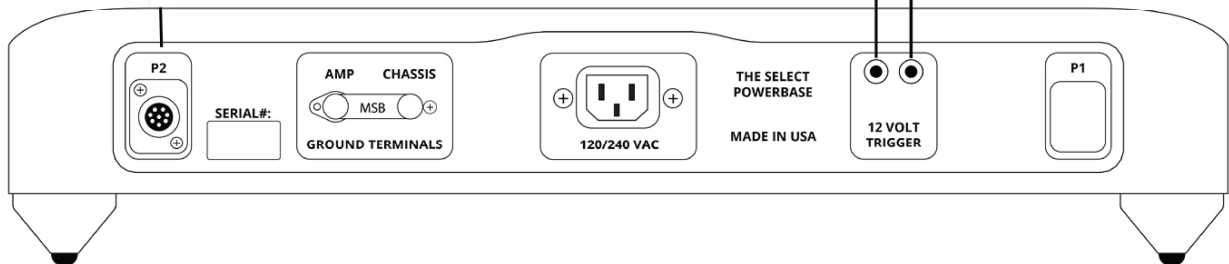


Analog outputs

The Select Powerbase



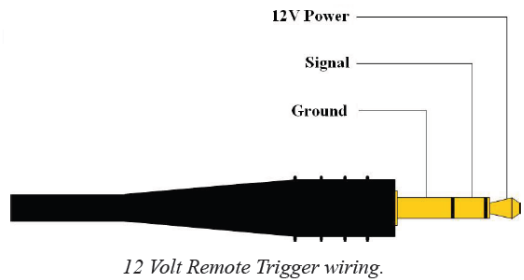
The Select Powerbase



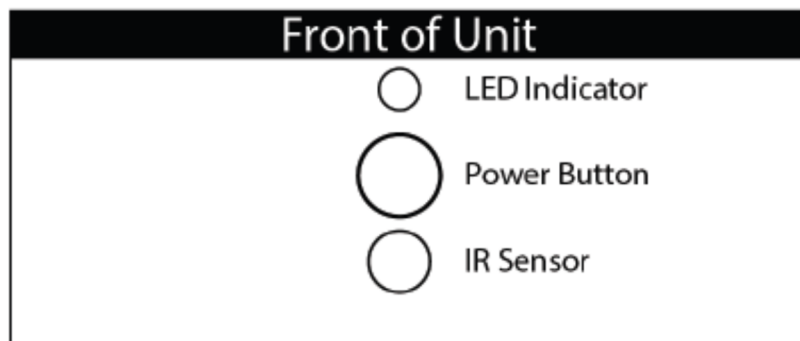
■トリガー端子と接続ケーブルについて:

トリガーケーブル(3.5mm ミニ 3 極フォーンプラグ・ケーブル)です。

! トリガー端子は MSB 製品同士のトリガー目的以外には使用しないでください。(この端子のトリガー信号には 12VDC が使用されていますので、特にイヤフォンなどは、破損の恐れがありますので、絶対につながないでください)



電源オン/オフのしかた



■必要なすべての接続が終わったら本機の AC 電源入口に AC 電源コードを、プラグを AC100V(50Hz/60Jz)の壁コンセントにつなぎ、フロントパネルのパワーボタンで電源オン/オフを行ないます。

■トリガー接続を行なっている場合は、下記を参照しマスターに設定したユニットで電源オン/オフをしてください。

[トリガーの設定について]

トリガー接続をしている場合は、特定のユニットをマスターとし、他のユニットをスレーブ機として設定することで、マスター機の電源オン/オフ操作でスレーブ機の電源オン/オフを連動させることができます。

●電源ボタンの下部・底面の Power Control スイッチで電源オン/オフのマスター機、スレーブ機の設定を行ないます。



Normal = マスター機となります。※通常 (12V トリガー機能を使用しない場合)も Normal にしてください。

本機の電源オン/オフに同期してトリガー接続した他のユニットをオフ オフさせます)

Linked = スレーブ機となります。本機の電源ボタンでの操作はできません。

(トリガー接続したマスター機の電源オン オフに同期して本機がオフ/オフします)

[LED 表示について]

●電源ボタンの下部・底面の Display Brightness は LED の明るさのコントローラーです。

右に回すと明るく、左に回すと暗くなります。

電源ボタンの上の LED 表示は動作状態を色別で表示します。

- 白：電源オン
- 赤：電源オフ
- アンバー：Normal 設定で 12V トリガーでオフになっているとき
- アンバーでフラッシュ：電源電圧が過大

Select Digital Director 機能の ON/OFF

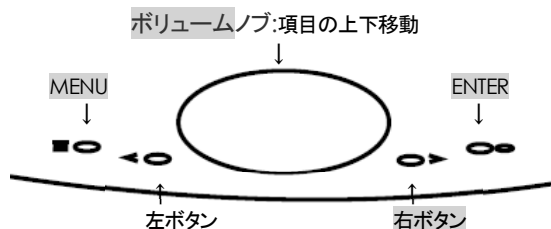
Select Director の機能は、Select DAC のメニュー操作でオン/オフすることができます。

メニュー項目 **Digital Director** を表示させると現在の設定が確認できます。

- Filter = オン (デフォルト設定) Select DAC のディスプレイに「+」マークが表示されます。
- Passthrough = オフ

●メニュー操作でオン/オフの切り替えのしかた

1. MENU ボタンを押してディスプレイにメニュー項目を表示します。
 2. ボリュームノブを回してゆき、メニュー項目 **Digital Director** を表示させます。
 3. 現在の設定内容 **Filter** または **Passthrough** が表示されますので、これを変えたい場合は右ボタンを押します。
(設定内容に→が付きます)
 4. ボリュームノブを回して変更したい内容を決めます。
 5. 設定項目が決定したら ENTER ボタンを押します。Saving の表示が出て設定が保存されます。
- ※MENU 操作を終了するには MENU ボタンを押します。



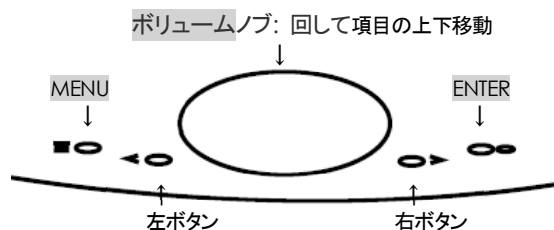
! Select DAC 本体のファームウェア・アップデートを行なう必要がある場合にはこの設定を **Passthrough** にしてください。

Select DAC メニュー

Select DAC に Select Digital Director を接続したときは、Select DAC 単体時のメニュー項目に加えて、「Director 機能の ON/OFF 項目」と、「Director のファームウェア番号」の 2 つの設定項目が追加されます。

●メニュー操作のしかた

1. MENU ボタンを押すとメニューがディスプレイに表示されます。
 2. 項目の選択は、ボリュームノブを回して行ないます。
 3. 選択した項目の設定を変えたい場合は右ボタンを押します。
(設定内容に→が付きます)
 4. ボリュームノブを回して変更したい内容を決めます。
 5. 設定項目が決定したら ENTER ボタンを押します。Saving の表示が出て設定が保存されます。
- ※MENU 操作を終了するには MENU ボタンを押します



↓メニュー項目一覧は次ページを参照

Select DAC メニュー項目一覧

項目	機能	デフォルト設定
Display Brightness	1 - 10 の段階でディスプレイの明るさを調整できます。	8
Display	On : ディスプレーが常時点灯 AUTO OFF : ディスプレーは通常非点灯となりますが、何らかの操作をしたときのみ一瞬点灯します。	ON
DSD Mode	DSD 再生のプロセッシング設定です。 Optimized : DSD を MSB 独自のメソッドでプロセッシングしてデコードします。 Native DSD :: DSD をプロセッシングなしでダイレクトにデコードします。	Native DSD
Startup Volume	電源 ON 時、最初のボリュームレベルを「0 - 100」または「Volume Disabled」に設定できます。 Volume Disabled に設定するとボリューム操作は無効となり 100 で出力します。プリアンプを使用する時の設定です。	70
Input Switching	Manual with smart の設定では、電源投入時に最初に検出されたアクティブな入力を選ばれ固定されます。 入力ボタンを操作しない限りこの入力は切り替わりません。また、アクティブな別の入力がある場合には入力ボタンで手動切り替えが行なえます。 Auto with smart の設定では、上記と似てはいますが、別のアクティブな入力は自動で選ばれます。 Auto with all inputs の設定では、装備されている入力が自動で選ばれます。	Auto with smart
Digital Filter	Digital Director 機能をオン/オフできます。 Filter : オン (Select DAC のディスプレイに「+」マークが表示されます) Passthrough : オフ	Filter
Restore Setting	メニュー各項目をすべて出荷時の初期設定に戻します。	
Renderer Remote	Enable : リモコンの 9,10,11,13,14 がレンダラーモードで曲送りなどに使えます。 Disable : MSB TRANSPORT 用の機能となります。	
Analog (Input)	アナログ入力を無効とする("Off")か、有効とする("On")かを設定できます。 尚、On モードは、"On-Volume Contolled" と、"On-Volume Bypassed" の二通りから選択できます。 On-Volume Controlled : Select DAC のアナログ入力に対してボリュームコントロールを有効とします。 On-Volume Bypassed : Select DAC のアナログ入力に対してボリュームコントロールを無効とします。	Off
(以下は確認のみで設定変更はできません)		
SN	XX-xxxxxx : 本機のシリアル番号、その他を表示	
DAC Software	本機のファームウェア番号を表示	
Director Software	接続された Select Digital Director のファームウェア番号を表示	
Input A - Input D	入カスロット A から D までに現在装着されている入力モジュールの形式を表示	
Output	装着された出力モジュールの形態(XLR または RCA)と出力インピーダンスを表示	

主な仕様

- デジタル入カスロット: 4 系統(A~D)のスロットに MSB デジタル・入力モジュールを装着可能
- 許容デジタル入力: 装着した MSB デジタル入力モジュールに依存
本体のサポートフォーマット:
PCM: 44.1kHz ~ 3,072kHz PCM up to 32 bits
DSD: 1xDSD, 2xDSD, 4xDSD, 8xDSD via DoP on all inputs
- 電源: 100V AC, 50/60Hz
- 消費電力: 20W, 1W 以下(スタンバイ時)
- 外形寸法/重量: 本体,電源各 444W x 92H x 444D (mm) / 16kg
- スパイネサイズ: M6
- 同梱付属品: Pro ISL モジュール, Pro ISL ケーブル, コントロールリンクモジュール,
コントロールリンク TOSLINK ケーブル , 3.5mm ミニプラグ・トリガーケーブル, AC 電源コード

※仕様は予告なく変更される場合があります。

保証

本機の保証はアクシス株式会社が行ないます。

同梱の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後 10 日以内に下記宛にご返送ください。

折り返し、保証書をお送りいたします。

無償保証期間は 2 年間です。保証についての詳細は、保証書をご覧ください。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27

アクシス株式会社

TEL 03-5410-0071 / FAX 03-5410-0622

